

受入先	NPO 法人 額娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 9 月（着任 2 年 3 カ月目）
主な活動	1 地域公共交通プロデューサー養成講座受講 2 薩摩会議参加

1. 地域公共交通プロデューサー養成講座受講

地域公共交通に分類される指宿枕崎線。様々な要因が重なって利用者が減少しておりますが、全国に目を向けると、地域公共交通を担っている鉄道やバスなどが利用者の減少により、運転本数の減少や路線廃止になっております。

指宿枕崎線のありかたについて議論されておりますが、地域公共交通は移動手段の一つとして大切な手段であると考えていること、また、他の地域から訪問する方々を呼び込み、地域活性化につなげていくためには、鉄道だけでなくバスなど地域全体の公共交通について考える必要があると考えて受講しています。

今回は地域公共交通の評価と目標設定について講義を受け、その後、参加者が事前に調べた自治体の公共交通計画の評価と目標設定について良い点に着目した内容を発表（現在自分が住んでいる自治体以外の地域公共交通計画）しました。

発表した内容について、教員からその地域が現在どのような状況に置かれているか、どのような点が障害になっているかなどのコメントをいただきましたが、それぞれの地域で異なる問題があることを学びました。



写真：講座が行われた名古屋大学

2. 薩摩会議参加

全国各地で地域活性化に取り組んでいる方々が集まり、鹿児島県内の地域活性化の事例を視察し研鑽を行うことや、第一線で活躍されている方々がそれぞれのテーマに沿って話し合い、地域づくりに取り組む際の目標を作っていく薩摩会議に参加しました。

霧島市にある小浜ヴィレッジを視察し、元来の里山や自然との融合を目指して作られた建物や集落を視察した後、地域の開発について登壇者からの取り組み発表と意見交換を行いました。特に地方路線を線と捉えて、駅周辺に古民家を改修した宿泊施設を作り運営する取り組みは、参考になると思いました。地域だけでなく、宿泊施設の雇用を生み出すからです。

翌日は鹿児島市内に集まり、地域活性化に取り組み第一線で活躍されている方々が事業を進めるにあたって苦労したことや今後のありかたについて話し合い、意見交換を行いました。何かを変えたい、でもその何かがつかめない、という思いを持った方々がどのようにして形にしたか、地域に合った取り組みは何か、を考えた取り組みは、事業の起業や継続になることばかりでした。

現在、西穎娃駅を活用したイベントについて関係する方々と話し合っていますが、小さなことでも一つずつ進めていくことの大切さ、継続していくことの難しさを感じました。

